

株式会社住友倉庫

平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月15日

目次

I. 平成26年3月期決算の概要

I-1. 決算の状況	1
I-2. セグメント別営業収益	2
I-3. セグメント別営業利益	3
I-4. 財政状態	4
I-5. キャッシュ・フローの状況	5

II. 平成27年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し	6
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	7
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	8
II-4. 主な設備投資案件	9

III. 中期経営計画への取り組み

III-1. 中期経営計画の概要	10
III-2. 海外事業の拡充	11
III-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み①）	12
III-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み②）	13
III-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み③）	14
III-3. 国内物流事業の拡充	15
III-3. 国内物流事業の拡充（具体的な取組み①）	16
III-3. 国内物流事業の拡充（具体的な取組み②）	17
III-4. 不動産事業への積極投資	18
III-5. 業績目標	19
III-6. 営業利益の推移計画（地域別）	20
III-6. 営業利益の推移計画（事業別）	21

補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高	22
2. トランクルーム期末保管残高	23
3. 港湾運送取扱量	24
4. 国際輸送取扱量	25
5. 賃貸ビル面積	26

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I .平成26年3月期決算の概要



I -1.決算の状況

連結	平成25年3月期		平成26年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益（百万円）	156,422	100.0%	164,917	100.0%	8,494	5.4%
営業利益（百万円）	10,201	6.5%	9,693	5.9%	△508	△5.0%
経常利益（百万円）	11,151	7.1%	11,126	6.7%	△24	△0.2%
当期純利益（百万円）	6,222	4.0%	6,224	3.8%	2	0.0%
1株当たり当期純利益（円）	34.89	-	34.88	-	-	-

単体	平成25年3月期		平成26年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
当期純利益（百万円）	5,005	-	5,218	-	212	4.2%
1株当たり当期純利益（円）	28.07	-	29.23	-	-	-
1株当たり年間配当額（円）	11.00	-	12.00	-	-	-

営業収益	物流事業において国際輸送の取扱いが回復するとともに、為替相場が円安に転じたことが寄与し、増収
営業利益	不動産賃貸収入の減少等により、減益
経常利益	受取配当金や持分法による投資利益の増加等により、前期並み
当期純利益	前期並み（微増）

I -2.セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期	平成26年3月期	増	減
1. 物流事業	124,084	130,628	6,544	5.3%
①倉庫収入	22,379	22,679	300	1.3%
②港湾運送収入	35,845	36,551	706	2.0%
③国際輸送収入	27,473	32,720	5,247	19.1%
④陸上運送ほか収入	38,386	38,677	290	0.8%
2. 海運事業	23,588	26,323	2,735	11.6%
⑤海運事業収入	23,588	26,323	2,735	11.6%
3. 不動産事業	9,778	8,977	△801	△8.2%
⑥不動産事業収入	9,778	8,977	△801	△8.2%
計	157,451	165,929	8,477	5.4%
セグメント間内部営業収益	△1,029	△1,012	16	1.6%
純営業収益	156,422	164,917	8,494	5.4%

①倉庫収入	文書等情報記録媒体及び配送センター業務を中心に貨物保管残高が堅調に推移し、増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌は概ね前期並みに推移した一方、一般荷捌は輸出貨物を中心に前期を上回る取扱いとなり、増収
③国際輸送収入	プロジェクト輸送や航空貨物の取扱いが回復したほか、一貫輸送が東南アジアや欧州関連を中心に堅調な取扱いとなり、為替相場が円安に転じたことも寄与し、大幅増収
④陸上運送ほか収入	連結子会社における新規配送センター業務の開始により陸上運送収入が増加したことなどから増収
⑤海運事業収入	紙・パルプなどの林産品及び大型機械が前期を下回る取扱いとなったものの、為替相場が円安に転じたことが寄与し、増収
⑥不動産事業収入	一部の賃貸物件におけるテナントの新規入居が寄与したものの、テナントの入替えや賃料改定があった影響から減収

I -3.セグメント別営業利益

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期	平成26年3月期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	8,290	8,405	114	1.4%
2. 海運事業	254	560	306	120.6%
3. 不動産事業	5,467	4,647	△820	△15.0%
計	14,011	13,612	△398	△2.8%
調整額	△3,809	△3,919	△109	△2.9%
純営業利益	10,201	9,693	△508	△5.0%

1. 物流事業	営業収益が増収となる一方で、作業諸費や人件費等の増加もあり、前期比1.4%の増益
2. 海運事業	前ページの営業収益の状況に加えて、備船料や燃料油価格が低下したほか、経費の削減に努めたことから、前期比約2.2倍の増益
3. 不動産事業	前ページのテナントの状況により、前期比15.0%の減益



I -4.財政状態

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期末	平成26年3月期末	増 減 額
総 資 産	263,931	289,028	25,096
負 債	123,634	134,991	11,357
純 資 産	140,297	154,036	13,738
(うち少数株主持分)	(6,465)	(6,871)	405
自己資本比率	50.7%	50.9%	-
1株当たり純資産	749.60円	823.82円	74.22円

総 資 産	株式相場の上昇による「投資有価証券」の増加や社債の発行に伴う「現金及び預金」の増加等により、前期末比で約250億円の増加
負 債	社債の発行等により、前期末比で約113億円の増加
純 資 産	投資有価証券の時価の上昇に伴う「其他有価証券評価差額金」の増加及び当期純利益の計上による「利益剰余金」の増加等により、前期末比で約137億円の増加



I -5. キャッシュフローの状況

(単位：百万円)

区 分	平成25年3月期	平成26年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	14,073	9,265	△4,807
投資活動によるCF	△10,185	△13,150	△2,965
財務活動によるCF	△10,926	8,905	19,831
現金及び現金同等物期末残高	16,492	22,616	6,123

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益及び減価償却による資金の留保等により、92億6千5百万円の増加
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出等により、131億5千万円の減少
財務活動によるCF	社債の発行等により、89億5百万円の増加



Ⅱ.平成27年3月期見通し



Ⅱ-1.業績の通期見通し

連結	平成26年3月期実績		平成27年3月期見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益（百万円）	164,917	100.0%	170,000	100.0%	5,083	3.1%
営業利益（百万円）	9,693	5.9%	9,700	5.7%	7	0.1%
経常利益（百万円）	11,126	6.7%	10,900	6.4%	△226	△2.0%
当期純利益（百万円）	6,224	3.8%	7,100	4.2%	876	14.1%
1株当たり当期純利益（円）	34.88	-	39.78	-	-	-

単体	平成26年3月期実績		平成27年3月期見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
当期純利益（百万円）	5,218	-	5,400	-	182	3.5%
1株当たり当期純利益（円）	29.23	-	30.25	-	-	-
1株当たり年間配当額（円）	12.00	-	12.00	-	-	-

営業収益	<p>(連結)</p> <p>不動産事業では一部賃貸ビルにおけるリニューアル工事の実施等に伴う不動産賃貸収入の減少が予想されるものの、物流事業では倉庫、港湾運送及び国際輸送において取扱いの増加が予想され、海運事業も堅調な取扱いが見込まれることから営業収益は3.1%増収、営業利益は0.1%の微増益、経常利益は2.0%の減益、当期純利益は特別損益の改善も見込まれることから14.1%の増益を予想</p>
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

Ⅱ-2.セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	130,628	134,700	4,071	3.1%
2. 海運事業	26,323	27,600	1,276	4.8%
3. 不動産事業	8,977	8,900	△77	△0.9%
計	165,929	171,200	5,270	3.2%
セグメント間内部営業収益	△1,012	△1,200	△187	△18.6%
純営業収益	164,917	170,000	5,082	3.1%

営業利益

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	8,405	9,300	894	10.6%
2. 海運事業	560	700	139	24.9%
3. 不動産事業	4,647	3,700	△947	△20.4%
計	13,612	13,700	87	0.6%
調整額	△3,919	△4,000	△80	△2.0%
純営業利益	9,693	9,700	6	0.1%

Ⅱ-3.セグメント別設備投資額・減価償却額の通期見通し

設備投資額

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	5,772	6,100	327	5.7%
2. 海運事業	71	200	128	178.8%
3. 不動産事業	5,744	4,300	△1,444	△25.1%
計	11,588	10,600	△988	△8.5%
4. 全 社	437	400	△37	△8.6%
連 結	12,025	11,000	△1,025	△8.5%

減価償却費

(単位：百万円)

区 分	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	3,801	3,900	98	2.6%
2. 海運事業	497	500	2	0.5%
3. 不動産事業	1,816	2,400	583	32.1%
計	6,116	6,800	683	11.2%
4. 全 社	843	600	△243	△28.9%
連 結	6,960	7,400	439	6.3%

Ⅱ -4. 主な設備投資案件

区 分		平成26年3月期 (実績)	平成27年3月期 (通期見通し)
物流	埼玉・羽生アーカイブセンター第2センター 第二期専用倉庫建設工事 工期：H26.5～H27.6（予）	-	30.0 億円
	大阪・南港地区倉庫建設工事 工期：H26.3～H27.4（予）	15.7 億円	15.7 億円
不動産	東京住友ツインビル中期保全工事及びリニューアル工事 (東京都中央区) 工期：中期保全工事 H23～H32（予） 西館リニューアル工事 H25.11～H26.6（予）	26.3 億円	30.0 億円
	淀屋橋ミッドキューブ建設工事 工期：H25.4～H26.3（完了）	24.4 億円	-
全社	東京本社移転 時期：H25.12（完了）	1.7 億円	-
	本社（大阪）移転 時期：H26.9（予）	-	1.9 億円



Ⅲ. 中期経営計画への取組み



Ⅲ-1. 中期経営計画の概要

海外事業の拡充 (11~14ページ)

経営基盤の一層の強化

- ・グループ会社の効率的運営による総合力発揮
- ・国際感覚を備えた創造力豊かな人材の育成
- ・コンプライアンスの徹底とリスク管理体制の強化
- ・地球環境保全への積極的取組み

国内物流事業の拡充 (15~17ページ)

不動産事業への積極投資 (18ページ)

成長戦略を実現する設備投資計画

(中計期間投資額) **700** 億円*

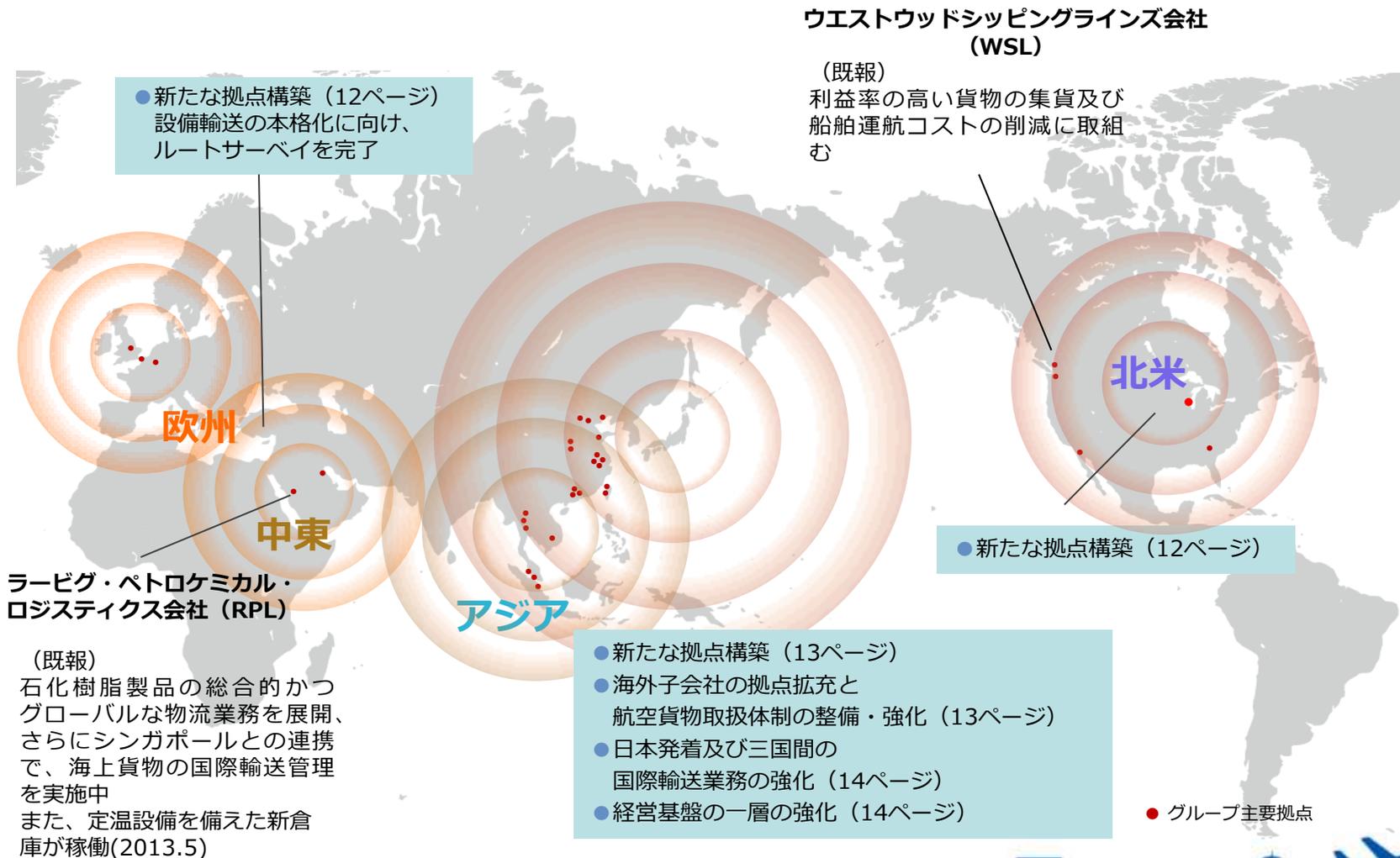
*システム・地球環境保全等40億円を含む





Ⅲ-2. 海外事業の拡充

第二次中期5か年経営計画（2013年3月期～2017年3月期）





Ⅲ-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み①）

●新たな拠点構築

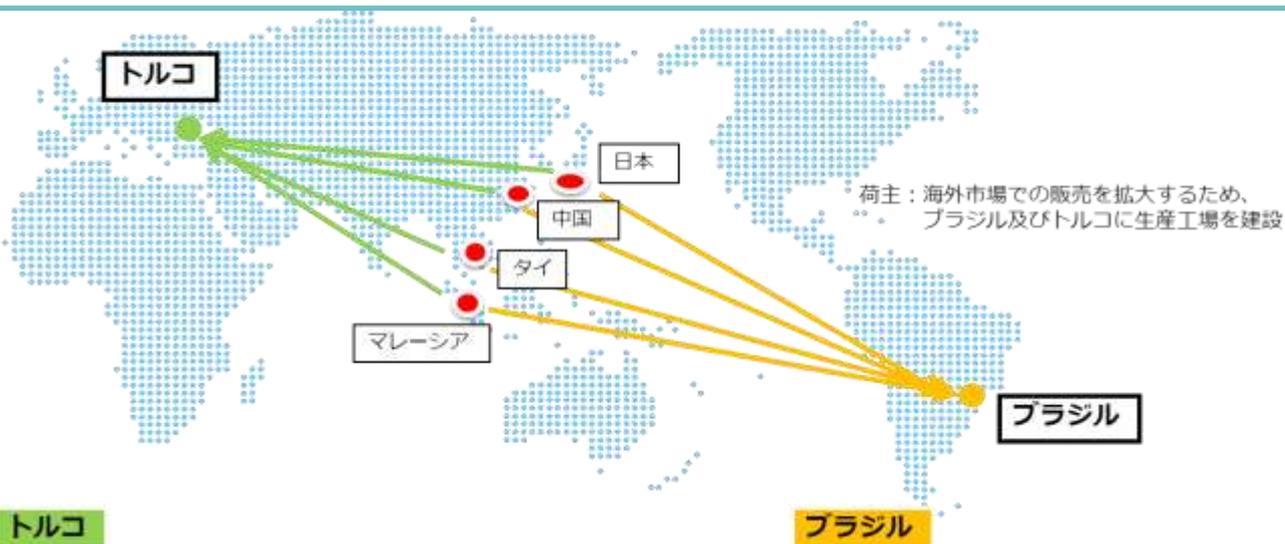
【北米】

- ・シカゴ支店開設(SWU・2014.1)
- ✓ **中西部での営業強化**

【中東】

- ・トルコ 引受体制整備（～2014.5）
設備輸送の本格化（2014.6～）
- ✓ **STEP2に向けた取組みを継続中**

所在地 イリノイ州アイトスカ



トルコ	ブラジル
STEP 1：工場建設に伴う設備輸送	工場建設に伴う設備輸送
STEP 2：トルコ国内業務 原料の輸入業務、製品の輸出及び国内配送業務の受命に向けた取組みを継続	





Ⅲ-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み②）

● 新たな拠点構築

【アジア】

- ・ インドネシア
 - ✓ 事業再開に向けた駐在員派遣（2013.5）
- ・ 中国
 - ✓ 煙台事務所開設（SILQ・2013.8）
 - ✓ 重慶事務所開設（SWCN・2013.11）

当社グループの市場の捉え方

労働集約的な生産工場としての位置付け



内需成長市場としての位置付け

● 海外子会社の拠点拡充と航空貨物取扱体制の整備・強化

【アジア】

- ・ 中国（上海）新倉庫建設（2014.1着工／2015.2竣工（予））
 - ✓ 上海錦江航運との合併会社：JSIL設立（2012.10）
 - ✓ 上海外高橋物流園区内に延べ面積39,000㎡の倉庫を建設中
 - ✓ 中国国内配送を含めた総合物流サービスを計画
- ・ タイ レムチャバン地区での庫腹増強策の検討(RDC)
 - ✓ 遠州トラックとの協業による新規業務を開始（2014.4）
- ・ シンガポール 工場構内物流に関連した保管・配送業務受命（USS・2014.3）
- ・ ベトナム 航空貨物取扱い拡大(SSV)





Ⅲ-2. 海外事業の拡充（具体的な取組み③）

● 日本発着及び三国間の国際輸送業務の強化

【アジア】

・ 中国

- ・ 深圳・塩田地区にて新規倉庫業務開始（SWHK・2014.2）
 - ✓ 情報・健康機器の非居住者在庫及び配送業務を受命
 - ✓ 日本での高い管理能力をグローバルに展開
 - ✓ 三国間輸送の取扱いを強化
- ・ 杭州 既存ミルクラン（巡回集荷輸送）業務の更なる拡大（SWCN）
 - ✓ ノウハウを活用したJIT納入
 - ✓ 上海遠州との協業を強化

● 経営基盤の一層の強化

- ・ 品質の向上への取組み
 - ✓ 上海 ISO9001・ISO14001認証取得（SWSH）
 - ✓ タイ ISO22301認証取得（RDC・事業継続マネジメントの国際規格）
- ・ 情報システムのプラットフォーム化の推進
 - ✓ 投入データの相互利用による事務効率化の実現





Ⅲ-3. 国内物流事業の拡充

第二次中期5か年経営計画（2013年3月期～2017年3月期）

●拠点の拡充 総合物流機能の向上

大阪南港エリア拠点拡充

多様なニーズに対応可能な新倉庫建設

延床面積：30,673㎡（9,278坪）

2014年3月着工

2015年4月竣工（予定）

●経営基盤の一層の強化（17ページ） ISO9001認証取得事業所の拡大

羽生アーカイブセンター第2センター

（16ページ）

第二期倉庫を建設し、保管能力拡大

2014年5月着工（予定）

2015年6月竣工（予定）





Ⅲ-3.国内物流事業の拡充（具体的な取組み①）

●拠点の拡充（アーカイブ事業）

羽生アーカイブセンター第2センター 第二期倉庫建設

背景：同センター第一期倉庫での取扱量が当初予想を上回って推移
今後も引き続き需要が拡大する見込み

特徴：災害に強く、顧客のBCPにも貢献
最新鋭のセキュリティシステムで安全性・機密性を追求

【第二期倉庫の概要】

所在地	埼玉県羽生市
構造	鉄筋コンクリート造4階建、 免震構造
延面積	23,200m ² （7,018坪）



（完成予想図：左側が第二期倉庫）





Ⅲ-3.国内物流事業の拡充（具体的な取組み②）

●経営基盤の一層の強化

ISO9001（品質管理マネジメント）認証取得事業所の拡大（2013.12）
航空貨物部門（1999年・ISO9002）に加え、以下の事業所で認証取得

倉庫入出庫・ 保管業務	大阪支店 川口営業所、南港第一営業所 神戸支店 六甲アイランド営業所 東京支店 お台場営業所 横浜支店 大黒営業所 名古屋支店 名古屋港営業所
輸出入貨物取扱・ 通関業務	大阪・神戸・東京・横浜各支店 輸出営業課、輸入営業課 名古屋支店 輸出入営業課
国際複合一貫 輸送業務	営業第一部 営業第二部 西日本営業部





Ⅲ-4. 不動産事業への積極投資

第二次中期5か年経営計画（2013年3月期～2017年3月期）

所有倉庫用地での新規施設建設
首都圏の事業基盤の強化

不動産事業 期間設備投資額

360億円（計画）

淀屋橋ミッドキューブ 稼働

[施設の概要]

- ・所在地 大阪市中央区北浜4丁目
- ・建物概要 鉄骨造 地上10階 地下1階
- ・延床面積 12,088㎡ (3,656坪)

2014年 3月 竣工
4月 賃貸開始（1棟契約）



戸田駅前再開発プロジェクト

具体化に向け、最終調整中

東京住友ツインビル

- ・西館リニューアル工事
2014年6月 工事完了（予定）
7月 賃貸開始（1棟契約）
- ・東館2フロア増床
2014年4月 賃貸開始



首都圏の事業基盤強化

100億円規模の資金投下

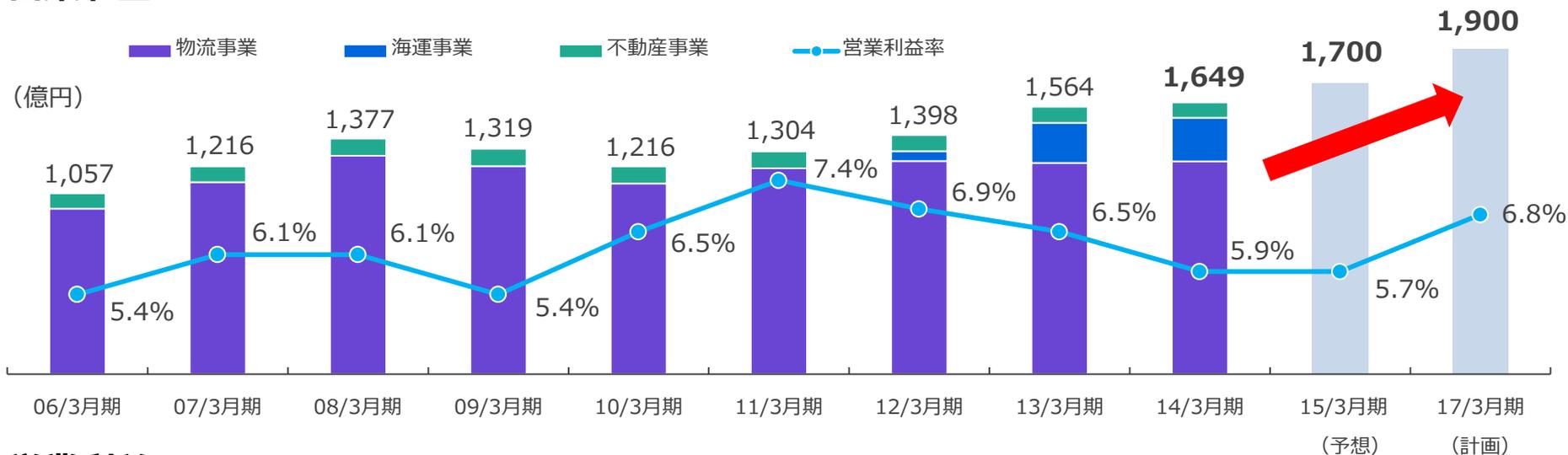
南堀江地区再開発プロジェクト

具体化に向け、交渉を継続中

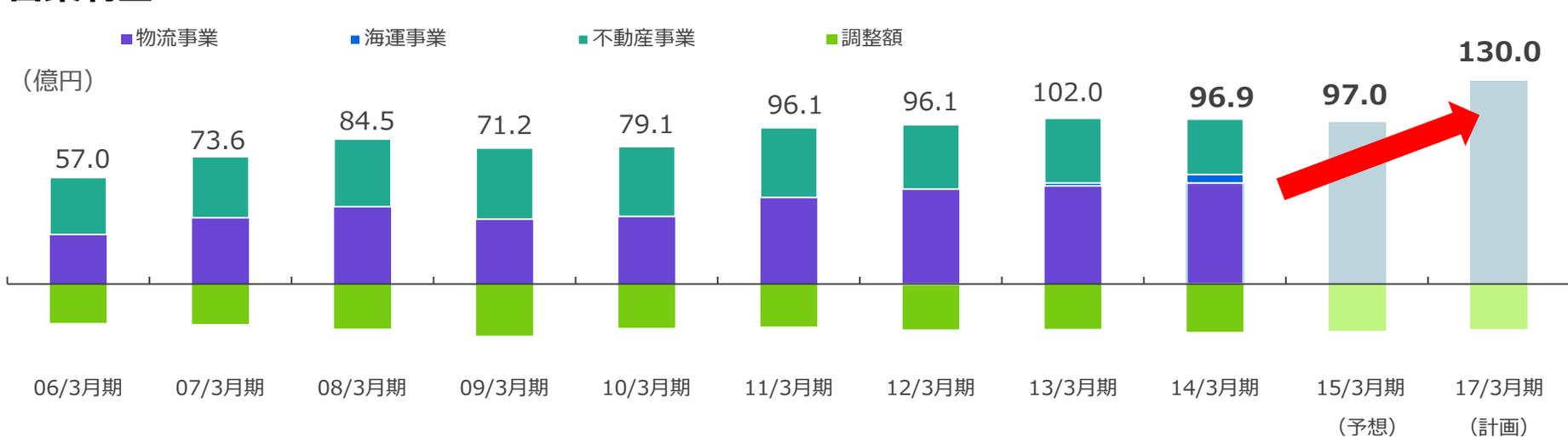


Ⅲ-5. 業績目標

営業収益

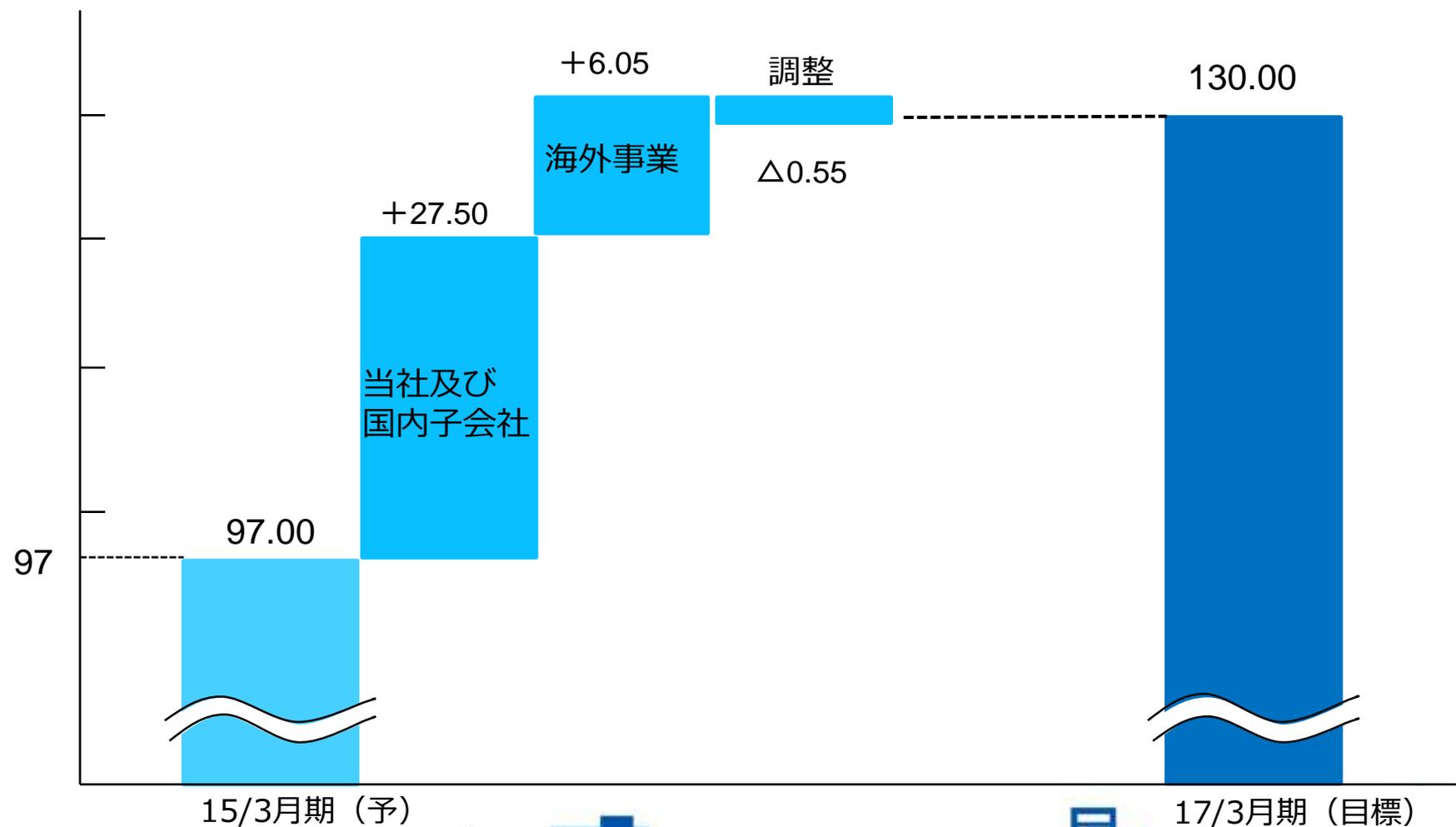


営業利益



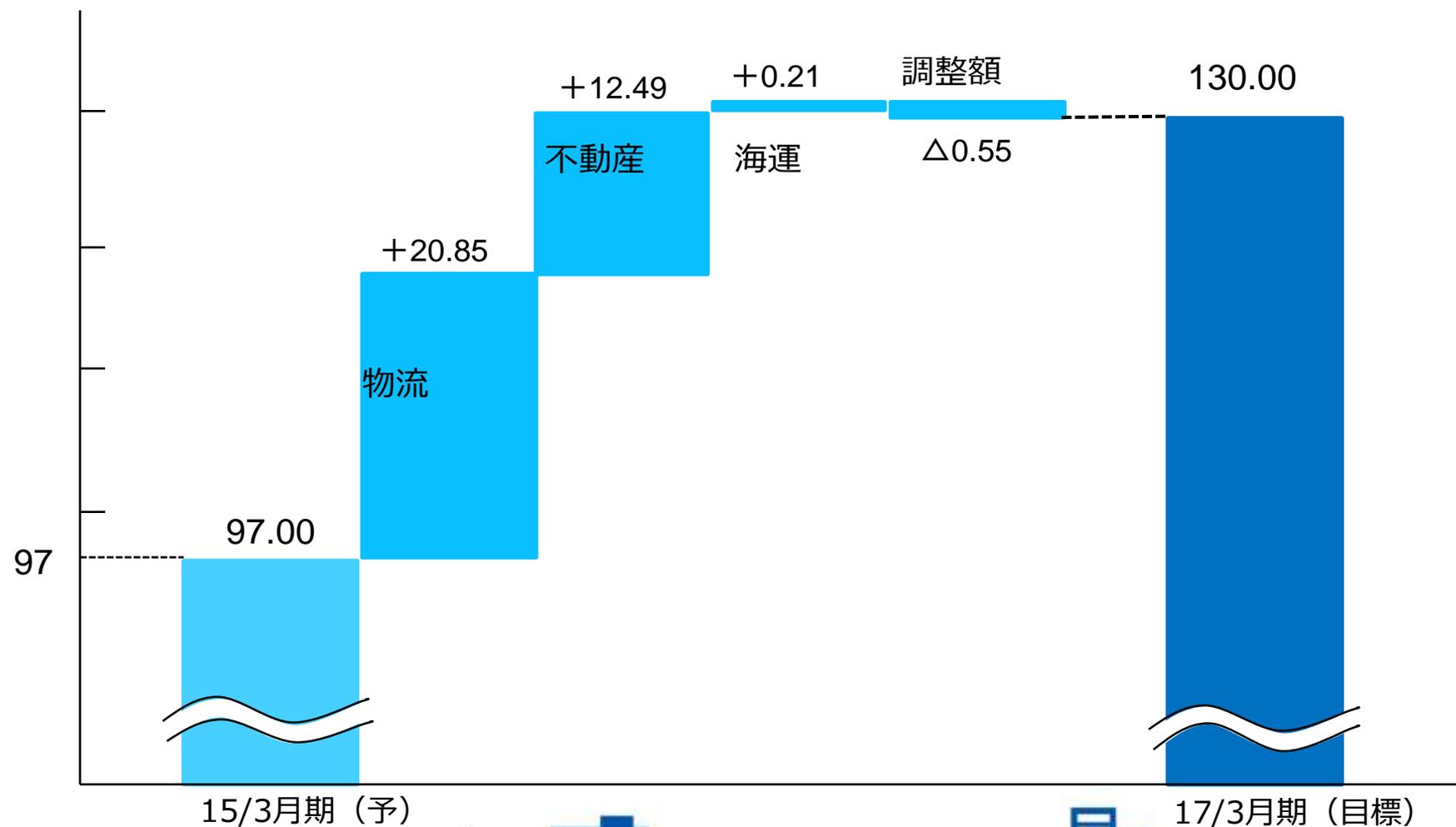
Ⅲ-6. 営業利益の推移計画（地域別）

億円



Ⅲ-6. 営業利益の推移計画（事業別）

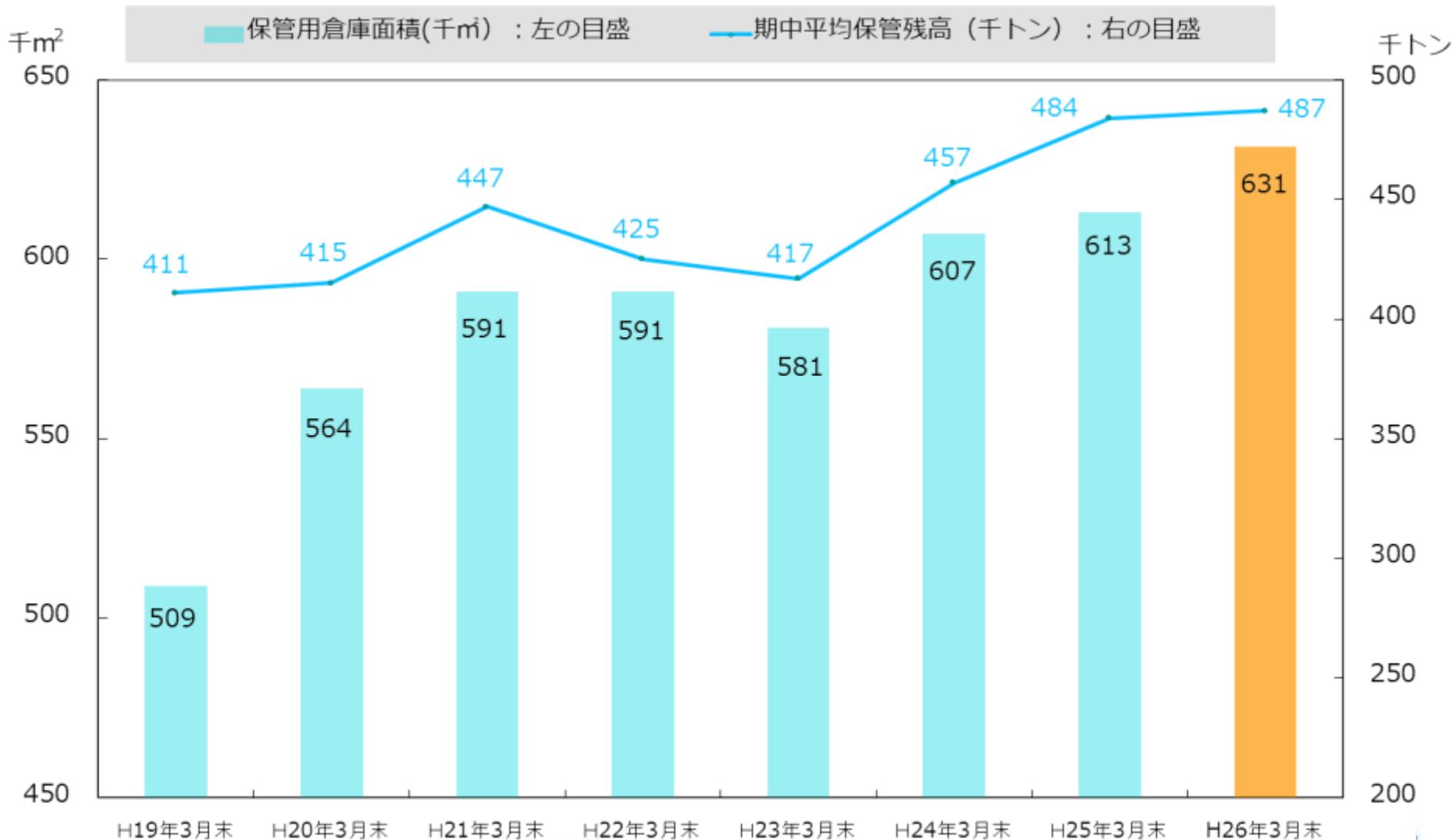
億円



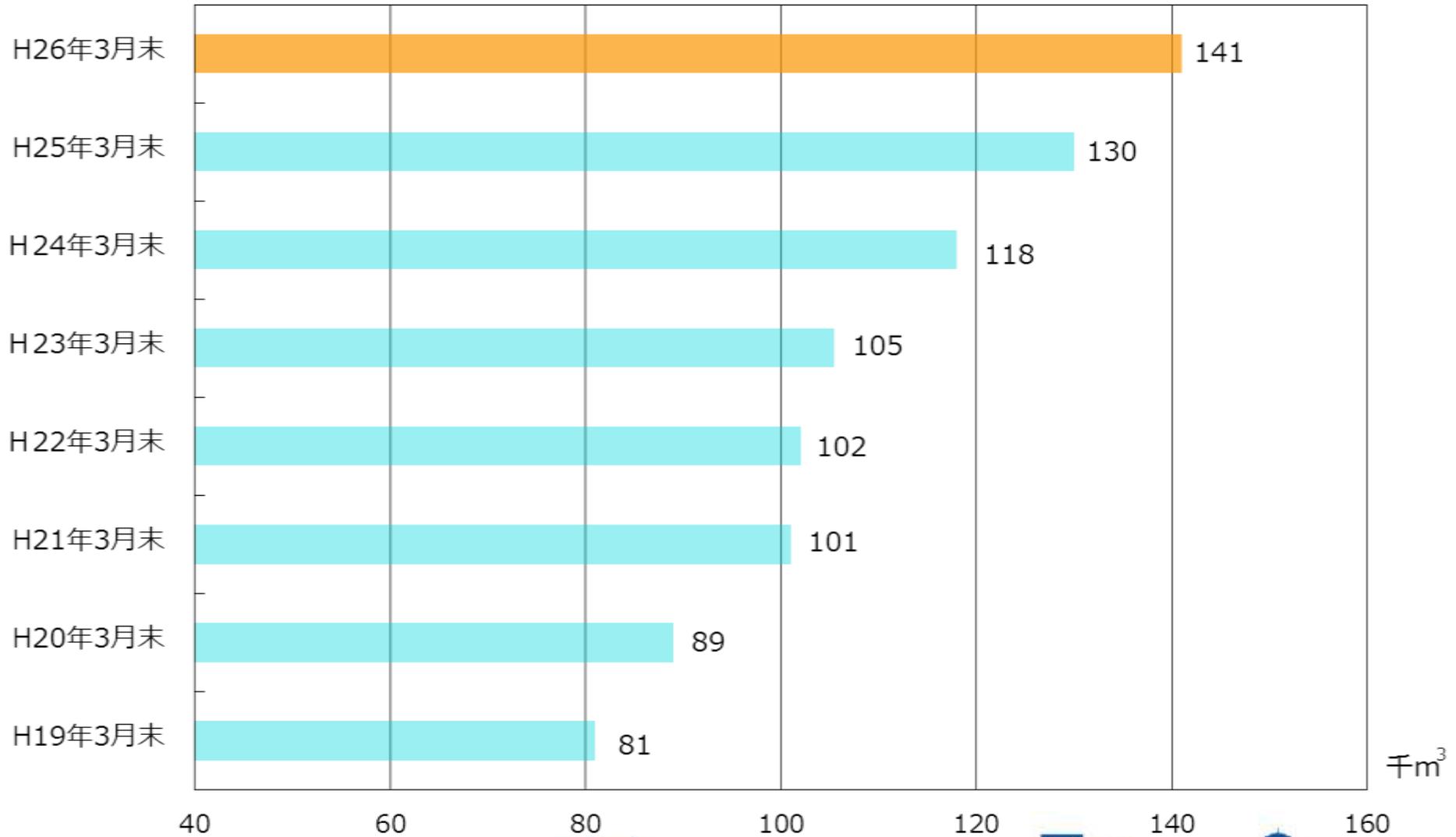
補 足 資 料



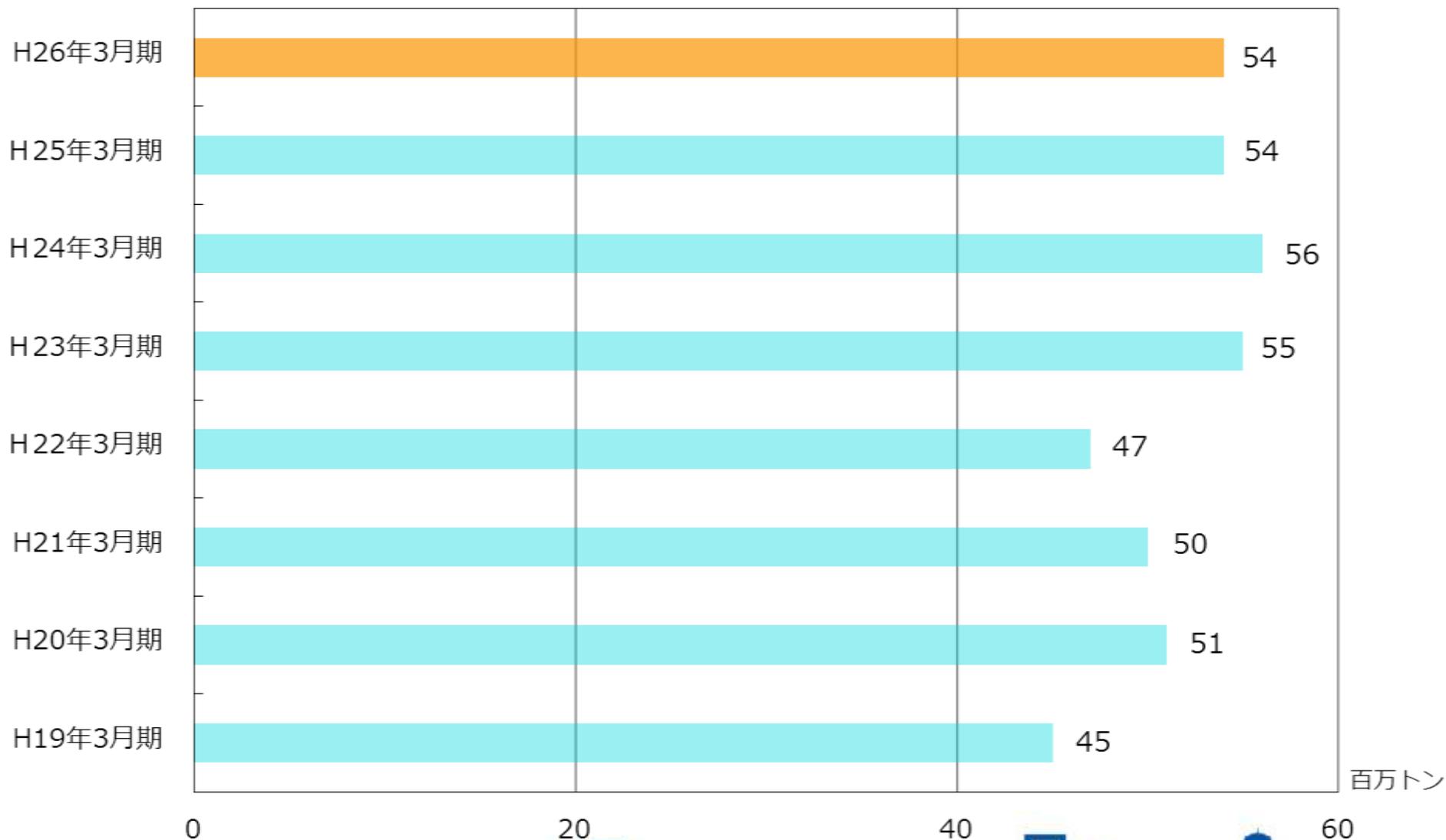
1. 保管用倉庫面積・保管残高



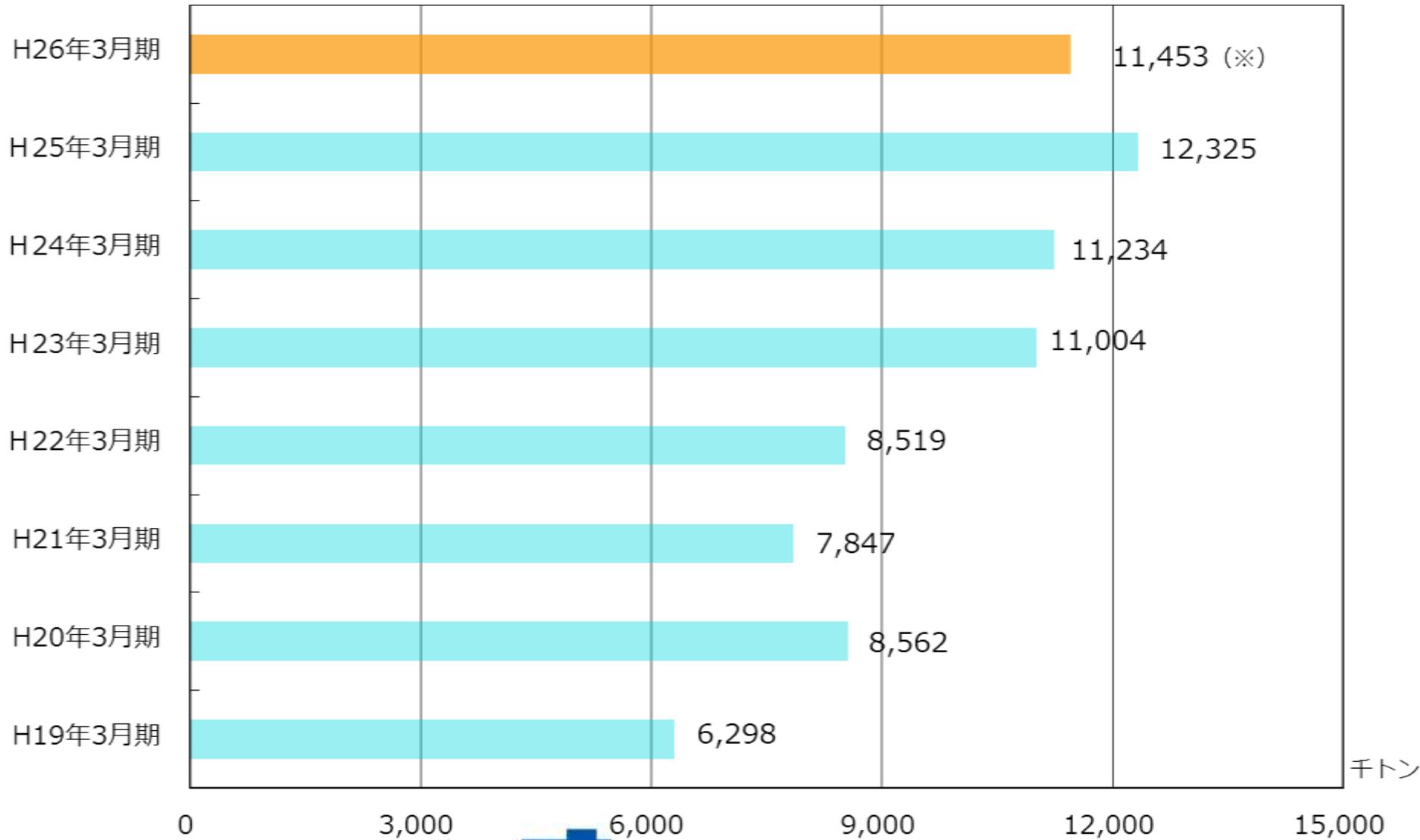
2. トランクルーム期末保管残高



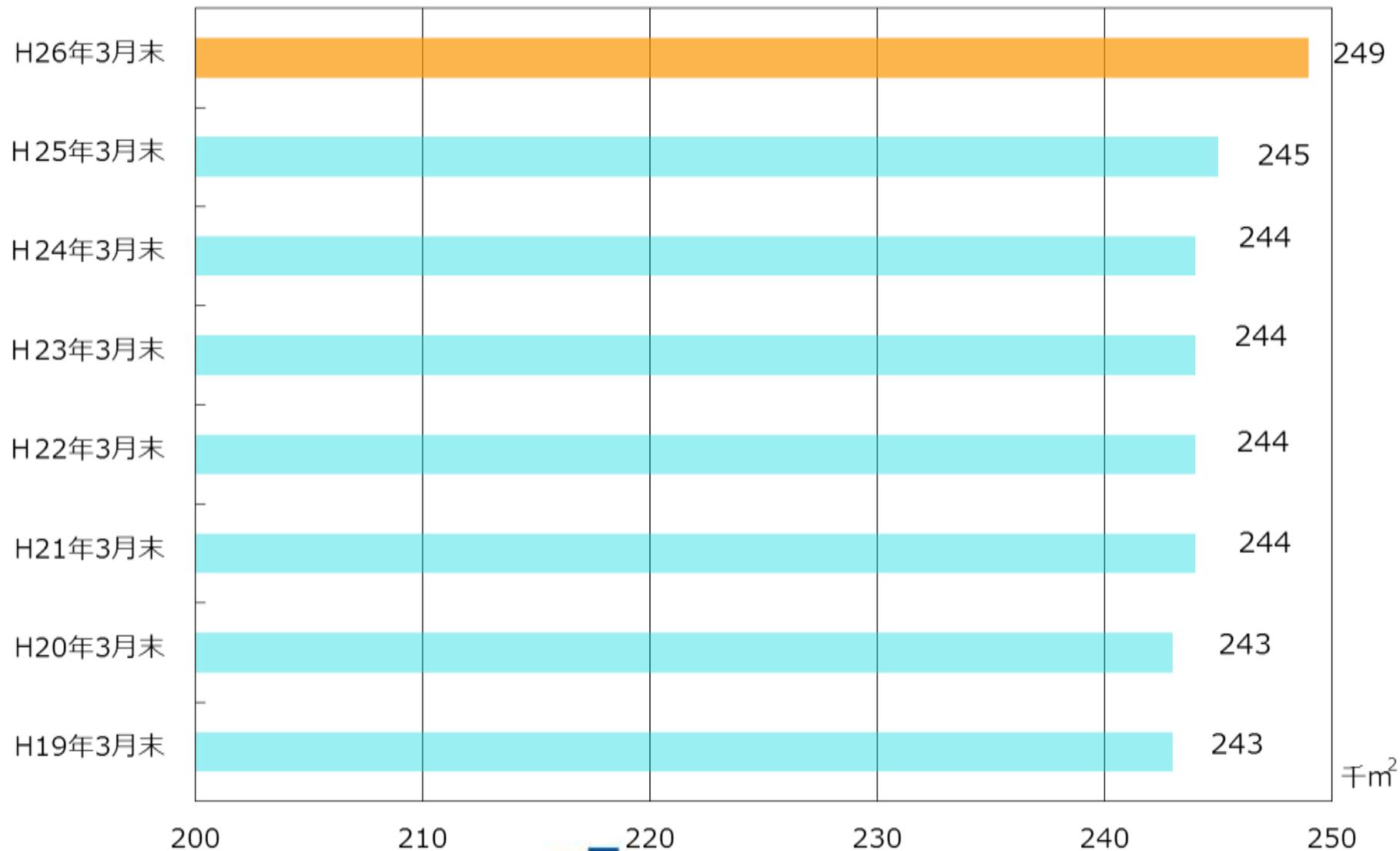
3. 港湾運送取扱量



4. 国際輸送取扱量



5. 賃貸ビル面積



本日はありがとうございました。



Best Synergy & Best Solution



< IRに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課
〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5
TEL : 06-6581-1104 FAX : 06-6581-3870
MAIL : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp
HP : <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>

